みんなの広場

ところざわの文化財 ❷ 歴史再発見

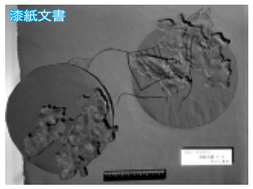
古代の道路と漆紙文書

今から約1350年前、地方の豪族による小さな国の集まりだった日本は、しだいに一つの国にまとめられていきました。これが、大和朝廷による中央集権国家の誕生です。各地には、行政単位として現在の県にあたる「国」が、その下に「郡」が置かれていきます。そして中央と地方との緊密な連絡を図るため、官用道路が全国に建設されました。

この時代の所沢は、武蔵国入間郡に属しており、官用道路が南北に通っていました。市内久米にある南陵中学校校庭での発掘調査で見つかった、「東山道武蔵路」と呼ばれるこの道路は、約12メートルの幅を持ち、武蔵国と上野国（現群馬県）や下野国（現栃木県）などを結び、さらに奈良の平城京へと通じていました。このことから、都で作成された文書などを運ぶため、役人が頻繁に行き来していたことがわかります。

平成５年には、それを示すような“紙”の出土がありました。その“紙”は、「漆紙文書」といわれ、全体に漆が付着し、表面には暦が、裏面には馬の絵が描かれていました。

君主が『時』を支配していた当時、暦は中央で作成され、地方にもたらされていました。裏面の馬の絵は、暦の役割を果たした後の紙の２次的な利用と考えられ、人の往来とともに馬の姿をこの道路でよく目にしていたことが想像できます。


漆紙文書

文字や絵を“書（描）く”役目を終えた“紙”は、漆容器の蓋紙として利用されたようです。漆には保護作用があるため、“紙”は土の中でも腐ることなく残ったのです。

“紙”は古代と現代をつなぐ懸け橋ともなりました。

街の写真館

▶青空の下、思い思いに絵筆を振るいました。画家の卵が集まった「第55回所沢市子ども写生大会」　４月22日㈯／西武園ゆうえんち

▲思い出の着物を生かしてお洒落を楽しむ…「エコロまつり／和服リフォームファッションショー」（撮影／市民カメラマン・松﨑　満）
５月１日㈪／リサイクルふれあい館・エコロ

◀大きなカブト虫の幼虫を発見！土の中の小さい生き物たちの役割と私たちのつながりを学んだ「春のめざめ教室」
４月23日㈰／所沢航空記念公園

一口メモ 防犯

～振り込め詐欺にご用心～

最近、毎日のように振り込め詐欺のニュースを耳にします。

特に電話を使って、家族が交通事故を起こしたとか、痴漢で逮捕されたなどと偽って、示談金などの名目で現金を振り込ませる、いわゆる「オレオレ詐欺」による被害は後を絶ちません。

オレオレ詐欺の手口はますます巧妙化しており、警察官や弁護士などになりすまして電話してくるケースが多くなっています。

警察官が示談金を振り込むように話をすることはありません。

★★もし、そんな電話があったら★★

①すぐには振り込まない、１人では振り込まない
②電話を切って、本人やほかの家族に連絡をとる
③家族しか分からない合言葉などで、本人の確認をする
④不審に感じたら警察に相談する

問い合わせ　防犯対策室（☎2998-9090・FAX2996-0015）

はつらつ野老（ところ）っ子

『楽しく英語を学ぶ』をモットーに

米澤　三八子さん（緑町在住）

米澤三八子さんが英語の教師を目指したきっかけは、中学校の英語の授業でビートルズを聴かせてくれた恩師との出会いでした。歌詞の意味を説明してくれたり、クラス全員で曲を歌ったり、楽しみながら英語を学ぶことを教えてくれたそうです。

先生は、中学２・３年生対象の選択授業で、英語が苦手な生徒でも興味を持ってくれるようにと、英語の絵本を教材に使っています。生徒たちは、約700冊ある絵本の中から自分に合った絵本を選び、読み進めていきます。辞書は使わず、絵本選びは生徒たちの自主性に任せているということです。

真中学校での授業風景

この学習方法にたどりつくまで、先生は各地の高校・大学の授業の見学に何度も足を運びました。そして、いろいろな教材の分析をし、試行錯誤を重ね、授業に取り入れました。この授業の実績が認められ、優秀な英語研究者に贈られる『大野政巳英語教育賞』を今年の３月に受賞しました。

「１冊読み終えたときの達成感を、生徒たちと一緒に味わえるのが何よりもうれしいです」と、目を輝かせながら話す先生。小さいころに読んだ『みにくいアヒルの子』や『三匹の子豚』を英語版で読むことで、物語の内容に改めて感動したり、新たな発見をしたりした生徒もいたそうです。

昨年は、市が企画した中学生海外派遣事業の通訳としてシンガポールを訪問し、現地の中学生たちとの交流を図るなど、国際交流の分野にも活躍の場を広げています。また、ほかの先生とも教材の情報交換や意見を交わし、英語教育の研究にも余念がありません。

そんな先生の趣味はパン作りです。しばし教師の立場を離れ、リフレッシュをすることで、思いがけないアイデアが浮かぶこともあるそうです。

先生は、「私の授業は子どもたちを導くスタートラインです」と言います。これからも英語と生徒たちの“橋渡し役”として、小学校の英語教育にも積極的に協力をしていきたい、と意欲的に将来の夢を語ってくれました。

レッツボランティア

【所沢ニュータウンふれあい会】

～互いが支え合い、助け合える雰囲気のまちづくりを目指して～

所沢ニュータウンふれあい会は、平成16年12月に所沢ニュータウン（中新井３～５丁目）の住民有志が立ち上げたグループです。

このグループが目指すのは、「互いが支え合い、助け合える雰囲気のまちづくり」です。この実現のために、自分たちの街は自分たちで守る「防犯パトロール」と「小学生の下校時の見守り」また、住民たちが自由に語り合える「ふれあいサロン」の活動に取り組んでいます。

特に見守り活動は、学校が休みの日以外は毎日街頭に立って、子どもたちの帰りを見守っています。そして、子どもたちも見守りボランティアの人たちをとても慕っています。

スタート時の最大の取り組みテーマは、町の安全を守ること。奈良で起きた誘拐殺人事件や、地元での誘拐未遂事件などを耳にし、他人事ではなく、身近な問題であると考え、この活動を始めました。

元気のいいあいさつが飛び交います

これからも、「自分たちのまちをよりよくしたい」「子どもの声に自分たちも元気をもらえる」という思いで、取り組んでいきます。

問い合わせ　所沢ニュータウンふれあい会（代表：金田進　☎2942-6197）

誰でもエッセイ

テーマ　友だち

真の友だちづくり

若狭・田原　敬三

僕の好きな英語のことわざの一つに“A friend in need is a friend indeed.”（まさかのときの友が真の友）というのがある。友だちだからといって必ずしもみんな真の友としての思いやりや、困ったときに助け合う心があるとは言えない。

親友もいれば悪友もいる。うわべだけの友だちというのも世間には多い。何かほかの目的や魂胆があって、あるいは単なる付き合いの必要から、無理に友だちになっているだけである。

現代が心の貧しい物騒な世の中になっている原因の一つも、この辺にあるような気がする。

不安のない平穏無事な世の中にするには、まず近所付き合いという身近なところから、一人でも多くの『真友』を見つけ出し、増やしていく努力が必要だ。

そして友だちの輪を世界にまで広げていくことが、いま一番望まれているのではないかと思うのである。

友だち

所沢新町・日詰　かおり

仕事から家に帰ると、筍を下ゆでし、ホーレン草はおひたしに、カブは浅漬にします。葉っぱは、みそ汁の具に用います。野菜たっぷりの夕食、なんと豊かな食卓なのでしょう。

実は、この野菜は、みんな息子の友だちのご家族からいただき物なのです。

息子の友だちは、この辺の農家のお孫さんや、お子さんらしく、息子も広い庭でトカゲとりや、泥だんご投げをさせてもらっています。そのうえ、新鮮な野菜のお土産までいただき、子どもの多いわが家の台所は大助かりです。「息子よ、なんといい友だちを持ったものよ」

主人はサラリーマンなので、今は何のお返しもできませんが、いつかどこかで何らかの形で、ご恩返しができればと思っています。

子どもを持って、大変な事も多いけれど、見知らぬ方にいろいろなところで助けられて、親子ともども成長していると感じます。

サークル仲間

並木・島田　敬子

私には大勢の友だちがいます。

特に60才を過ぎてからできた友だちは、男女の区別を超越した仲間であり、私の大切な宝です。

好奇心旺盛な私は、所沢市が掲げる生涯学習をめざし、高齢者大学や市民大学に参加しています。その仲間たちから生まれた色々なサークルに所属し、毎日を楽しんでいます。サークルには人生経験の豊かな人が多く、私も勉強になります。

心豊かに毎日を過ごせるのは、友だちのおかげであり、私の何よりの財産です。

戦友

金山町・黒田　義正

幼な友だち、同窓生、職場、趣味の友、どの友も忘れ難いが、私には強いきずなで結ばれた戦友たちがいる。

祖国を離れ遠い異国の過酷な戦地、「やらなければならない」生死紙一重の場で、血気盛んな男同志が一つ屋根の下、一つ釜の飯を食った仲である。忠、礼、武、信、質の五ケ条のもと、万一の時は骨を拾ってやるぞと暗黙理に…。

後年、妻同伴の全国各地での戦友会で、奥様方が言いました。「私たちには絶対に入り込めない、男たちの心情と強いきずなが妬ましい」と。今は、歳月が友を残り僅かにしてしまいました。

次回のテーマは「お弁当」です

▶「誰でもエッセイ」ではテーマにそった投稿を募集▶はがきに300字以内で▶文章は添削あり▶掲載者には記念品を進呈▶次回のテーマは「お弁当」▶締め切りは６月８日㈭必着▶住所・氏名・年齢・電話番号を明記▶送り先：〒359-8501・並木1-1-1　所沢市役所秘書広報課「みんなの広場」係◎Ｅメール（アドレスa9024@city.tokorozawa.saitama.jp）も可。